

人口ビジョン原案・総合戦略原案【パブリックコメント】での町民意見と町の考え方

この他にも表現等に関するご指摘などを頂きましたが、個別に判断して修正等を図ります。

【意見提出者数 2名 意見数9件】

基本目標	番号	意見（要旨）	町の考え方
石川町で安定した雇用をつくる	1	<p>農業の6次産業化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の6次産業化により、人口問題も雇用の場もまち中に新たな賑わいも取り戻せる。</li> <li>・農業をとりまく環境は益々厳しくなりました、そのため6次化が必要で以下を提案する。</li> </ul> <p>①地産地消の順序を変え地消地産とします。消費者が必要とする消費量がわかることで、生産量が見えて、そして必要なものがみえてきます。年間売上が安定し必要人口もわかります。</p> <p>②各生産者→加工所→大量消費者（個人消費者）この流れを管理する法人を作る。生産者には農業大学を卒業したばかりの者、当町出身の者などに移住してもらう、又地元農業者を再活用する。</p> <p>③これにより休耕地の再生工場跡地、閉校の温室としての利用がみこめる。</p>	<p>農業の6次産業化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頂戴したご意見を参考に施策に反映したいと考えております。</li> </ul> <p>6次産業化を進める事業主体につきましては、平成28年度から産業競争力強化法に基づく創業支援事業により、町、商工会、金融機関が連携を図り、セミナーの開催やビジネスプランコンテストの実施を通じて、育成、支援を図ってまいります。</p>
	2	<p>観光地域づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜を利用して観光客を呼び込む方法として、新庁舎の周辺に河津桜を植える。この桜は開花がはやいのと花が長持ちする特徴があるそうなので今の桜とあわせて楽しめると思う。あわせて川の方面にアヤメなどを植え町中には歩道にチューリップなど四季に合わせたプランタンを設ければ花の町として観光事業の一助になるのでは。</li> </ul>	<p>観光地域づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の季節だけでなく、四季、年間を通じた観光誘客を図るためのプログラムづくりを進めてまいります。</li> </ul>
	3	<p>企業誘致について</p> <p>石川町は郡山、須賀川、白河のいずれからも遠く、毎日通勤するのは困難のようです。せめて石川郡の中に職場があれば大分ストレスが小さいように思える。引き続き、企業の誘致を進められたい。</p>	<p>企業誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に自立し、定住を促進するための一つの方策として、外部資本の投下による新たな企業の立地が必要であると考えております。引き続き、企業の誘致活動に取り組んでまいります。</li> </ul>

基本目標	番号	意見（要旨）	町の考え方
石川町への新しい人の流れをつくり、定住を促す	4	<p>住宅取得への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取得資金がなくとも、希望の住宅が建設でき、地元工務店、材木の消費にもつながる施策が必要。</li> </ul>	<p>住宅取得への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度から、若者、子育て世代を対象に住宅取得に対する支援制度を創設する予定であります。地域経済への波及効果も勘案し、現在制度設計を行っているところであります。</li> </ul>
	5	<p>専門校の誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の高校に介護福祉科を新設する。</li> <li>若者の資格取得を支援するクラスのようなものがあると良い。町の中でその学びが出来る機会をつくる。少人数のクラスから始めてはどうか。また医・歯・薬学科を目指す高校生が学ぶクラスがあればどうかと考える。</li> </ul>	<p>専門校の誘致について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人材の育成と確保へ向け、関係団体や事業者と協議を図り、進めてまいります。</li> </ul>
	6	<p>人口増について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都会から高齢者に移住してもらおう（当町出身者にも）。当町を高齢者に優しい町と位置づける。農業、加工所、介護などに従事させる。高齢者が増えれば墓地も必要。そこで墓地公園ではなく納骨堂を旧火葬場に作る（土地の内容は知らず）、予算がなくともできる。</li> </ul>	<p>人口増について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本版CCRC（※1）構想につきましては、この度の総合戦略の策定過程で議論のあったところでありますが、戦略への記載は、見送ったところであります。次年度の戦略改定時までには再度検討したいと考えております。（※1：東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり）</li> </ul>
	7	<p>人の流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学、社会人のスポーツクラブの合宿所として使用してもらうことです。施設をつくらずできるスポーツはあると思います。</li> </ul>	<p>人の流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光地域づくり事業と連携し、「体験する」、「滞在する」の視点からの着地型の施策プログラムを検討、実践したいと考えております。</li> </ul>

基本目標	番号	意見（要旨）	町の考え方
若い世代の結婚・ 出産・子育ての希 望に応える	8	<p>出会いの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が目的を持って集える場をまち中につくる（出会いの機会がおおくなる）。</li> </ul>	<p>出会いの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、「まちなか再生行動計画」に定める賑わいづくりの一つの施策（まちなかプレイスメイキング事業）として、まちなかの居場所づくりを進めております。若者の出会いの機会と場所づくりを順次進めてまいります。</li> </ul>
協働のまちづくりに	9	<p>まちなか多機能拠点の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に事業を起こさないといけないのではないか。</li> </ul> <p>場所づくり（土地）ですが、まちなかの空家、高齢者世帯、移転希望者等の建物を町の費用で取り壊し空いた土地を無償で中期に借りる、固定資産税を少し安くする。小さな土地が広い土地に生まれ変わり多機能拠点ができあがると考えます。具体的には、郵便局に移転してもらい、各地区ごとに行っている催事をまちなかに呼び込む、そこで新たな人の交流が生まれる、乳幼児用に屋内遊技場を作る、足湯を作る。新庁舎周辺の開発も必要です。</p>	<p>まちなか多機能拠点の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能拠点につきましては、子育て支援と生涯学習の機能を集約した文教福祉複合施設として、旧石川小学校を想定しております。現在、改修の基本設計を行っており、平成28年度には、実施設計を行う予定であります。</li> <li>・まちなかの拠点につきましては、まちなかでの居場所づくり（まちなかプレイスメイキング事業）事業において、順次進めてまいります。</li> </ul>